



株式会社UKCホールディングス
2017年(平成29年)3月期決算 補足説明資料

2017年7月31日



株式会社 UKCホールディングス





このたびは、香港における不適切な会計処理に伴う平成29年3月期決算発表の遅延並びに多額の引当損失計上により、株主・投資家をはじめ関係者の皆様には、ご迷惑とご心配をお掛けいたしておりますことを衷心より深くお詫び申し上げます。

目次



事業セグメント	4
■ 決算修正の概要	
決算修正の概要	6
決算修正の推移	7
■ 2017年3月期 決算(連結)概況	
2017年3月期 ハイライト	9
2017年3月期 半導体及び電子部品事業	10
2017年3月期 電子機器事業	11
2017年3月期 システム機器事業	12
2017年3月期 財政状態(バランスシート)	13
2017年3月期 財政状態(キャッシュ・フロー)	14
■ 2018年3月期 通期連結業績予想	
2018年3月期 通期連結業績／配当予想	16
2018年3月期 通期業績予想 半導体及び電子部品事業	17
2018年3月期 通期業績予想 電子機器事業	18
2018年3月期 通期業績予想 システム機器事業	19



事業セグメント



事業部門(セグメント)		主要製品	主要顧客／市場
半導体及び電子部品事業	半導体	イメージセンサー、メモリー、マイコン、システムLSI、パワー、その他半導体	エレクトロニクスメーカー
	電子部品	液晶パネル、タッチパネル、バッテリー、光学ピックアップ、ACF、基板、複合部品、その他一般電子部品	
	EMS	電子機器受託製造サービス (Electronic Manufacturing Service)	
	その他	LED照明、太陽光パネル DDS (Dust Detection System) 事業※	店舗、工場、オフィス、メガソーラー
電子機器事業	電子機器	各種VTR、カメラ、音響映像関連機器、ビデオプリンター	放送局、プロダクション、一般企業、教育機関、医療機関、半導体製造装置メーカー、システムインテグレータ
	記録媒体品	磁気テープ、光ディスク、データ記録用ディスク	
	製品	電子機器を組み合わせたシステム製品、セキュリティ関連製品	
	その他	電子機器の修理、AV機器のレンタル、教育用ソフトウェア	
システム機器事業	産業電子機器及び伝送端末機器	非接触ICカード(FeliCa, NFC)R/Wモジュール、電子決済端末、出入管理端末	電子決済市場、デジタルサイネージ市場、PC・タブレットメーカー
	その他	信頼性試験受託業務、環境物質分析受託業務	半導体・部品メーカー、太陽電池メーカー

※太陽光発電における太陽光パネル表面上の汚れや温度上昇等に起因する発電効率の劣化を測定するセンサーを内蔵する機器の開発・設計・製造・販売事業と発電効率に関するデータ提供を行うサービス事業からなる



決算修正の概要

決算修正の概要

(億円)

修正項目	'13/3月期	'14/3月期	'15/3月期	'16/3月期	'17/3月期	累計
(1) 総額表示→純額表示	△ 63.5	△ 156.1	△ 268.6	△ 119.8	△ 95.4	△ 703.4
(2) 一部売上／仕入取り消し					△ 0.1	△ 0.1
売上高への影響	△ 63.5	△ 156.1	△ 268.6	△ 119.8	△ 95.5	△ 703.5
(3) UKC香港における引当損失等			△ 17.6	△ 93.9	△ 83.1	△ 194.6
(4) UKCシンガポールにおける引当損失等					△ 32.5	△ 32.5
(5) その他					△ 1.2	△ 1.2
利益への影響			△ 17.6	△ 93.9	△ 116.8	△ 228.3

- (1) UKC香港における一部取引について、従来、当事者取引として売上高を総額表示していたものを、その性質上、代理人取引として売上高を純額表示に修正
- (2) UKC香港における第三者委員会調査で判明した一部売上／仕入の取り消しを反映
- (3) UKC香港における第三者委員会調査で判明した資産の評価を反映
 - ・中国TVメーカーとその関連会社に対する前渡金、売掛金の回収可能性(一部売掛金回収の偽装)疑義
 - ・中国TVメーカー関連の転換社債に係る売掛金の回収可能性及び中国担保の権利行使の実効性疑義
 - ・類似取引に係る前渡金、売掛金の回収可能性の疑義
- (4) UKCシンガポールにおける前渡金に係る売掛金の回収可能性の懸念を受け、保守的に引当
- (5) 日系取引先の事業停止、自己破産(6月)を受け、引当

決算修正の推移

(億円)	2013/3月期		2014/3月期		2015/3月期	
	訂正後	影響額	訂正後	影響額	訂正後	影響額
売上高	2,781.6	△ 63.5	3,014.3	△ 156.1	2,538.1	△ 268.6
売上総利益	177.9 6.4%	△ 0.6	191.7 6.4%	△ 2.4	166.4 6.6%	△ 3.9
SGA	104.3	△ 0.6	122.5	△ 2.4	128.3	13.7
営業利益	73.6 2.6%		69.3 2.3%		38.2 1.5%	△ 17.6
経常利益	81.6		72.4		44.7	△ 17.6
親会社株主に帰属する 当期純利益	50.3		44.0		22.8	△ 17.6
総資産	1,142.2		1,184.4		1,298.6	△ 19.3
純資産	454.0		504.3		544.5	△ 19.3

(億円)	2016/3月期		2017/3月期		累計影響額
	訂正後	影響額	実績	影響額	
売上高	2,767.1	△ 119.8	2,737.5	△ 95.5	△ 703.5
売上総利益	181.3 6.6%	△ 1.2	160.1 5.8%	△ 0.8	△ 8.9
SGA	210.3	92.6	226.2	116.2	219.6
営業利益	△ 29.0 -1.0%	△ 93.9	△ 66.0 -2.4%	△ 117.0	△ 228.5
経常利益	△ 39.4	△ 93.9	△ 73.9	△ 116.6	△ 228.1
親会社株主に帰属する 当期純利益	△ 62.3	△ 94.3	△ 86.9	△ 115.7	△ 227.6
総資産	1,157.6	△ 106.5	1,242.4	△ 226.8	
純資産	470.8	△ 106.5	371.5	△ 225.9	



2017年3月期決算(連結)概況

2017年3月期 ハイライト

(単位:百万円)	2016年3月期実績 (訂正後)		2017年3月期予想 (2016/10/28修正)		2017年3月期実績		前年同期比		予想比	
	金額	構成	金額	構成	金額	構成	増減金額	増減率	増減金額	増減率
売上高	276,709	100.0%	282,000	100.0%	273,752	100.0%	▲2,957	▲1.1%	▲8,247	▲2.9%
売上総利益	18,129	6.6%	16,000	5.7%	16,012	5.8%	▲2,117	▲11.7%	+12	+0.1%
SGA	21,027	7.6%	11,000	3.9%	22,615	8.3%	+1,587	+7.6%	+11,615	+105.6%
営業利益	△ 2,897	△ 1.0%	5,000	1.8%	△ 6,603	△ 2.4%	▲3,705		▲11,603	
経常利益	△ 3,937	△ 1.4%	4,300	1.5%	△ 7,385	△ 2.7%	▲3,448		▲11,685	
親会社株主に帰属 する当期純利益	△ 6,227	△ 2.3%	3,000	1.1%	△ 8,688	△ 3.2%	▲2,460		▲11,688	
EPS(円)	△ 396.71		191.21		△ 553.49					

▶ 売上高:前年同期比▲29.6億円(▲1.1%)

海外スマホ向け売上が通年好調も、円高(為替影響約▲200億円)と熊本地震の影響(50億円弱)により前年同期比微減

▶ 売上総利益:前年同期比▲21.2億円(売上総利益率▲0.7%)

下期は利益水準が回復したものの、上期の急激な円高の進展に伴うドル建て取引における仕入時と販売時の為替レートの差異による原価率悪化等により、前年同期比減

▶ 営業利益:前年同期比▲37.1億円

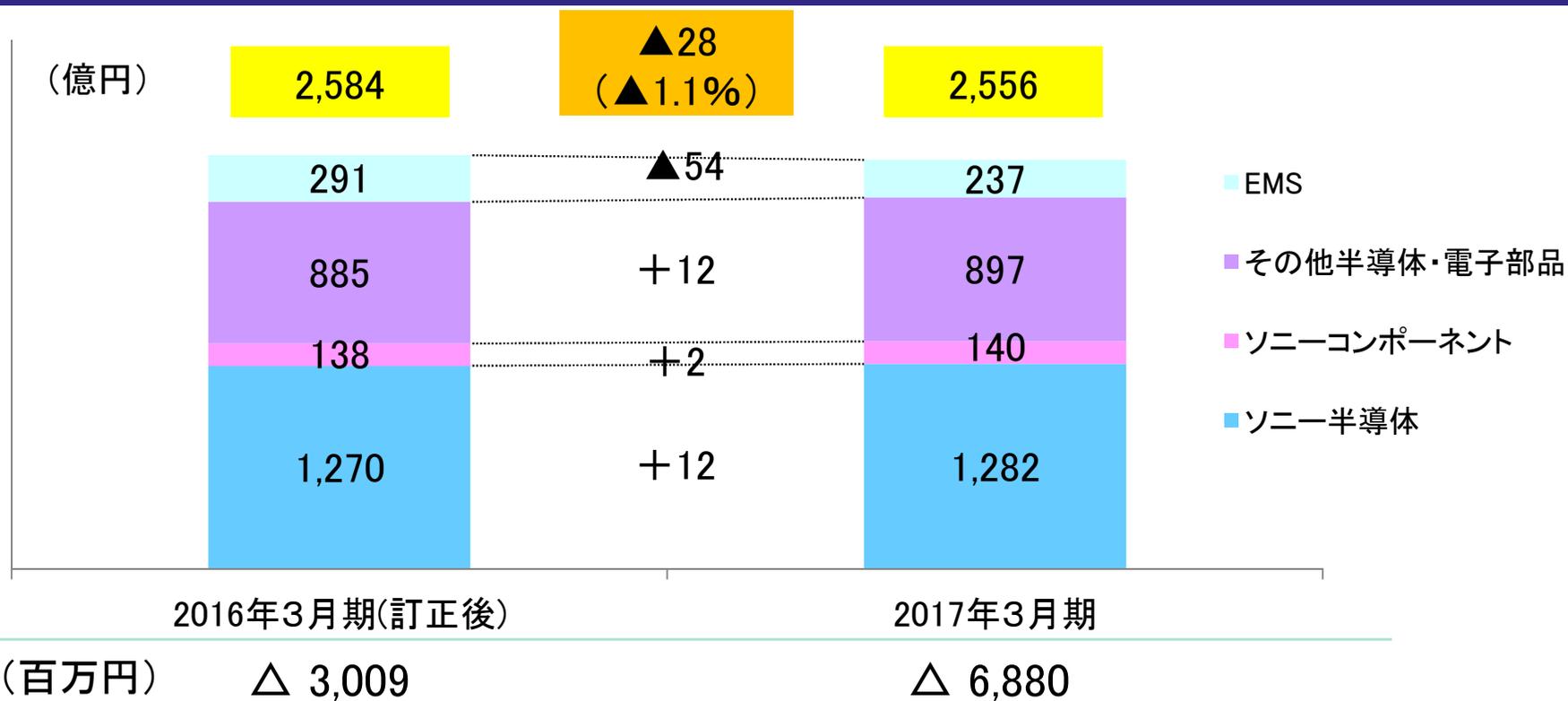
SGAがUKC香港、シンガポール関連の引当金計上により増加、売上総利益の減少もあり、前年同期比減

▶ 経常利益:前年同期比▲34.5億円

11月以降の円安傾向に伴う為替差損益の改善(前年同期840百万円差損⇒384百万円差損)はあったものの、営業利益減が大きく、前年同期比減

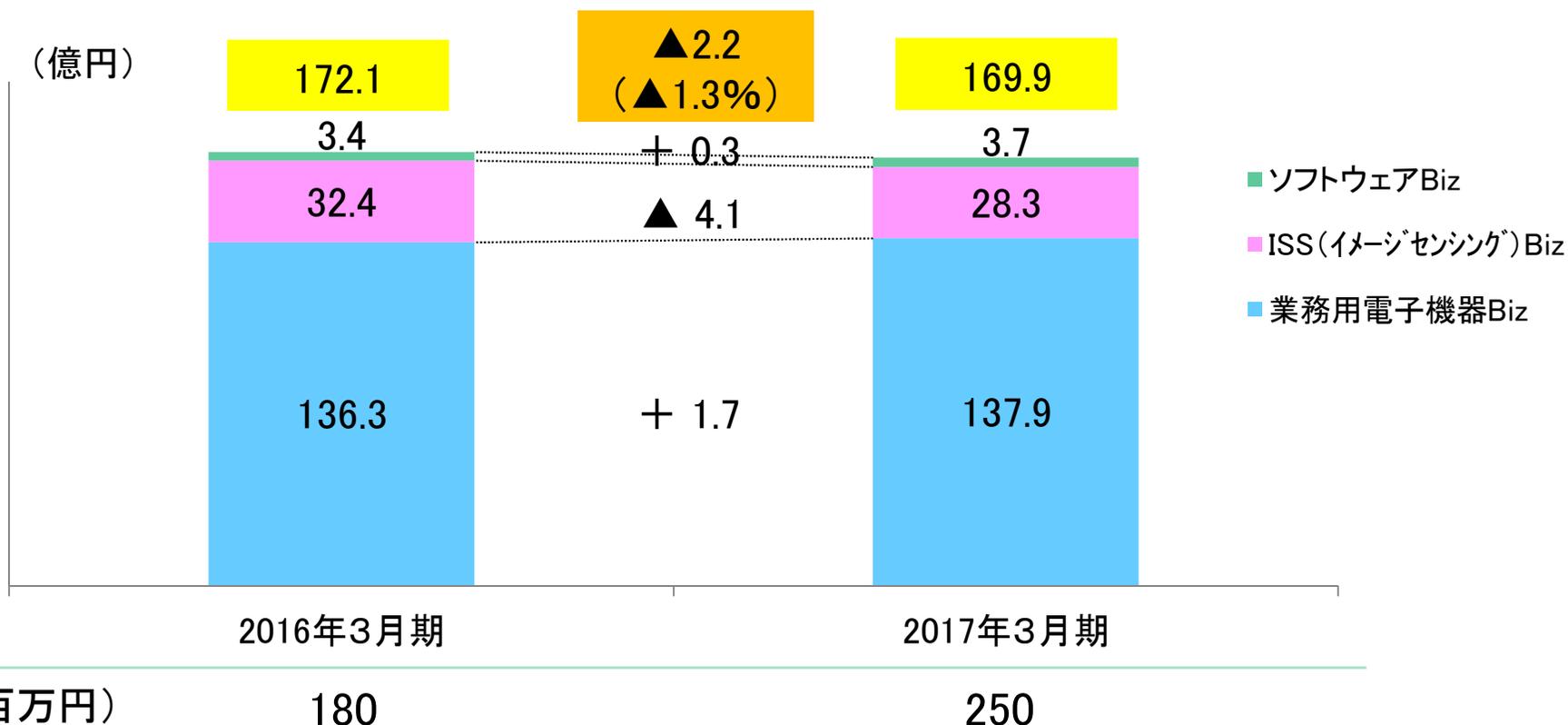
▶ 親会社株主に帰属する当期純利益:前年同期比▲24.6億円

2017年3月期 半導体及び電子部品事業



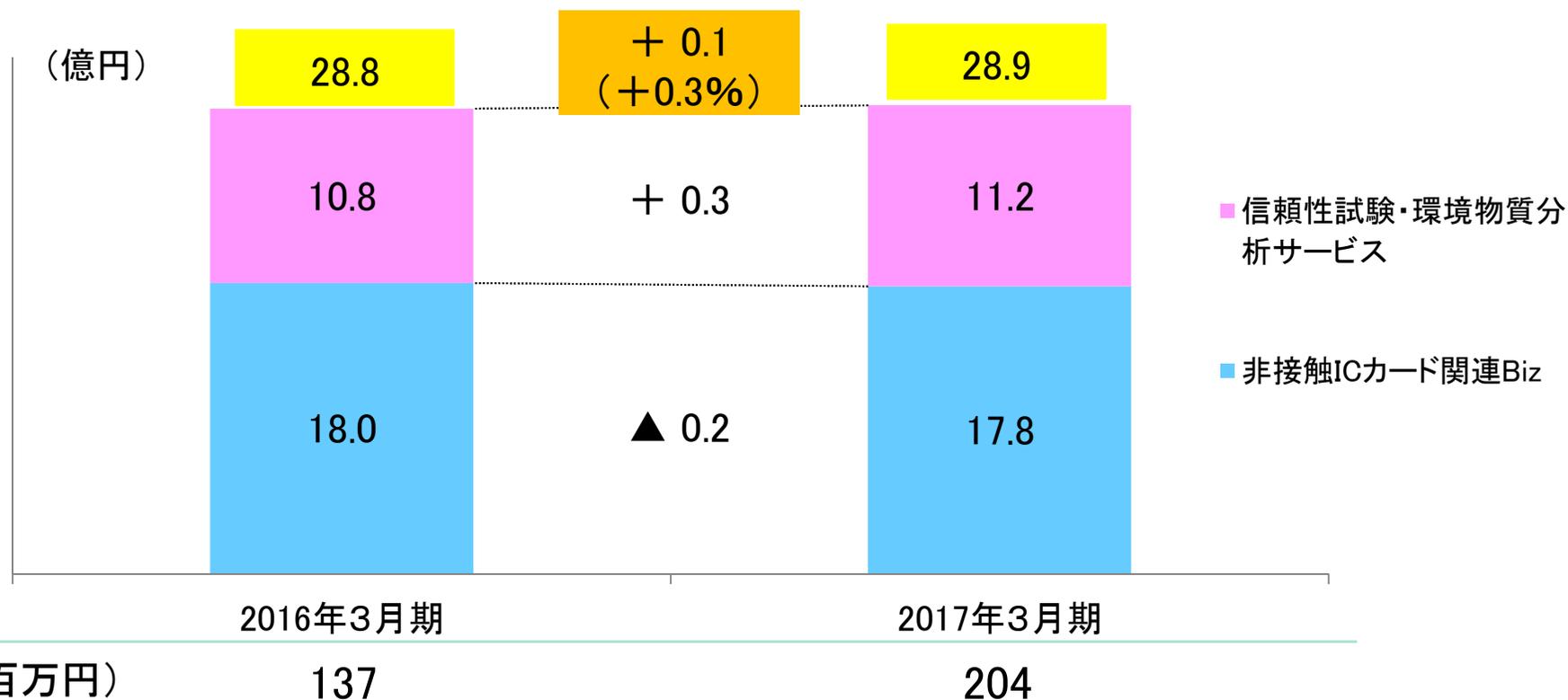
- ソニー半導体: 海外スマホ向けが通年好調で、円高や熊本地震の影響を吸収し、微増
- その他半導体・電子部品: 産機向け製品等の売上が伸長
- EMS: 中国自社工場(携帯端末向け部品基板実装)は引き続き堅調に推移も、前年同期は撤退したファブレスEMSの売上が6億円あったことに加え、円高や部品の無償支給割合増加の影響もあり、前年同期比減収
事業の収益性は前年同期より向上。ベトナム工場は予定通り、2017年3月単月で営業利益黒字化達成
- セグメント利益は、香港、シンガポールにおける引当金の増加に加えて、上期の急激な円高の影響もあり、損失が悪化

2017年3月期 電子機器事業



- 業務用電子機器ビジネス
第3四半期までのビハインドを第4四半期で挽回し、微増収
- イメージセンシングビジネス
上期の熊本地震の影響に加え、一部顧客の設備投資減もあり、減収
- セグメント利益は、利益率の向上により増益

2017年3月期 システム機器事業



- 非接触ICカード関連ビジネス
電子マネーや出入管理関連ビジネスの商談は引き続き活況に推移しているものの、足元の売上高は微減
- 半導体及び電子部品の信頼性試験・環境物質分析サービス
車載やパワー系の受注が増加
- セグメント利益は、利益率の向上により増益

2017年3月期 財政状態(バランスシート)



(単位:百万円)	16/3月末(訂正後)	17/3月末
現預金	22,705	20,076
売上債権*	72,225	76,333
棚卸資産	18,942	20,658
貸倒引当金	-10,954	-11,950
その他	5,800	11,307
流動資産計	108,720	116,426
固定資産計	7,037	7,811
総資産	115,758	124,237
仕入債務	34,945	45,562
短期借入金	22,522	32,926
1年内返済長期借入金	2,825	1,325
その他	3,876	4,008
流動負債計	64,169	83,823
長期借入金	3,635	2,300
その他	874	960
固定負債計	4,509	3,260
純資産	47,078	37,154
自己資本比率	40.3%	29.6%
BPS(円)	2,973.11	2,340.69

*電子記録債権含む

	前期末比	主な増減要因
総資産	+8,479	<ul style="list-style-type: none"> 前渡金 +4,946百万円 売上債権 +4,108百万円 たな卸資産 +1,715百万円 現預金 ▲2,629百万円
負債	+18,403	<ul style="list-style-type: none"> 仕入債務 +10,617百万円 短期借入金 +10,404百万円 未払法人税等 +43百万円 長期借入金 ▲1,335百万円 1年内返済予定長期借入金 ▲1,499百万円
純資産	▲9,924	<ul style="list-style-type: none"> 親会社株主に帰属する当期純損失 ▲8,688百万円 利益剰余金からの配当 ▲863百万円 その他の包括利益累計額の変動額 ▲358百万円
自己資本比率	▲10.7%	当期純損失の計上に伴う自己資本の減少による

2017年3月期 財政状態(キャッシュ・フロー)

(百万円)	16年3月期 (訂正後)	17年3月期	主な増減要因	
営業 CF	▲6,889	▲8,140	<ul style="list-style-type: none"> ・貸倒引当金の増加 ・仕入債務の増加 ・法人税等の支払額 ・たな卸資産の増加 ・前渡金の増加 ・税金等調整前当期純損失 ・売上債権の増加 	<ul style="list-style-type: none"> 11,728百万円 10,420百万円 ▲1,402百万円 ▲2,025百万円 ▲4,796百万円 ▲7,154百万円 ▲15,325百万円
投資 CF	▲368	▲1,070	<ul style="list-style-type: none"> ・投資有価証券の売却 ・有形固定資産の取得 	<ul style="list-style-type: none"> 314百万円 ▲1,290百万円
財務 CF	+3,410	+6,293	<ul style="list-style-type: none"> ・短期借入金の純増 ・配当金の支払額 ・長期借入金の減少 	<ul style="list-style-type: none"> 9,818百万円 ▲863百万円 ▲2,655百万円
現金及び 現金同等物	21,905	19,276		



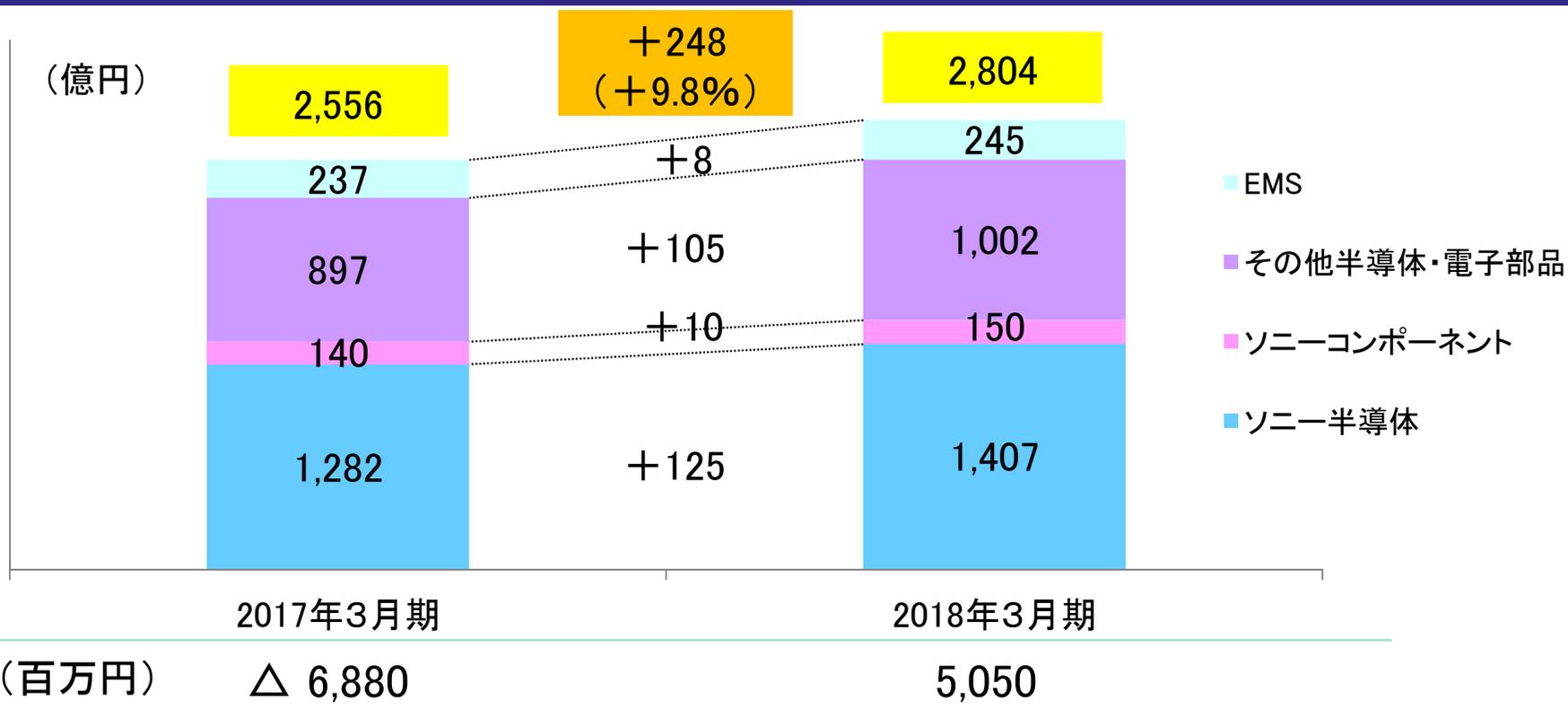
2018年3月期 通期連結業績／配当予想

2018年3月期 通期連結業績／配当予想

(単位:百万円)	2017年3月期 (実績)		2018年3月期 (予想)		前年同期比	
	金額	構成	金額	構成	増減金額	増減率
売上高	273,752	100.0%	300,000	100.0%	+26,247	+9.6%
売上総利益	16,012	5.8%	17,500	5.8%	+1,487	+9.3%
SGA	22,615	8.3%	12,000	4.0%	▲10,615	▲46.9%
営業利益	△ 6,603	△ 2.4%	5,500	1.8%	+12,103	
経常利益	△ 7,385	△ 2.7%	5,100	1.7%	+12,485	
親会社株主に帰属 する当期純利益	△ 8,688	△ 3.2%	3,400	1.1%	+12,088	
EPS(円)	△ 553.49		216.60			

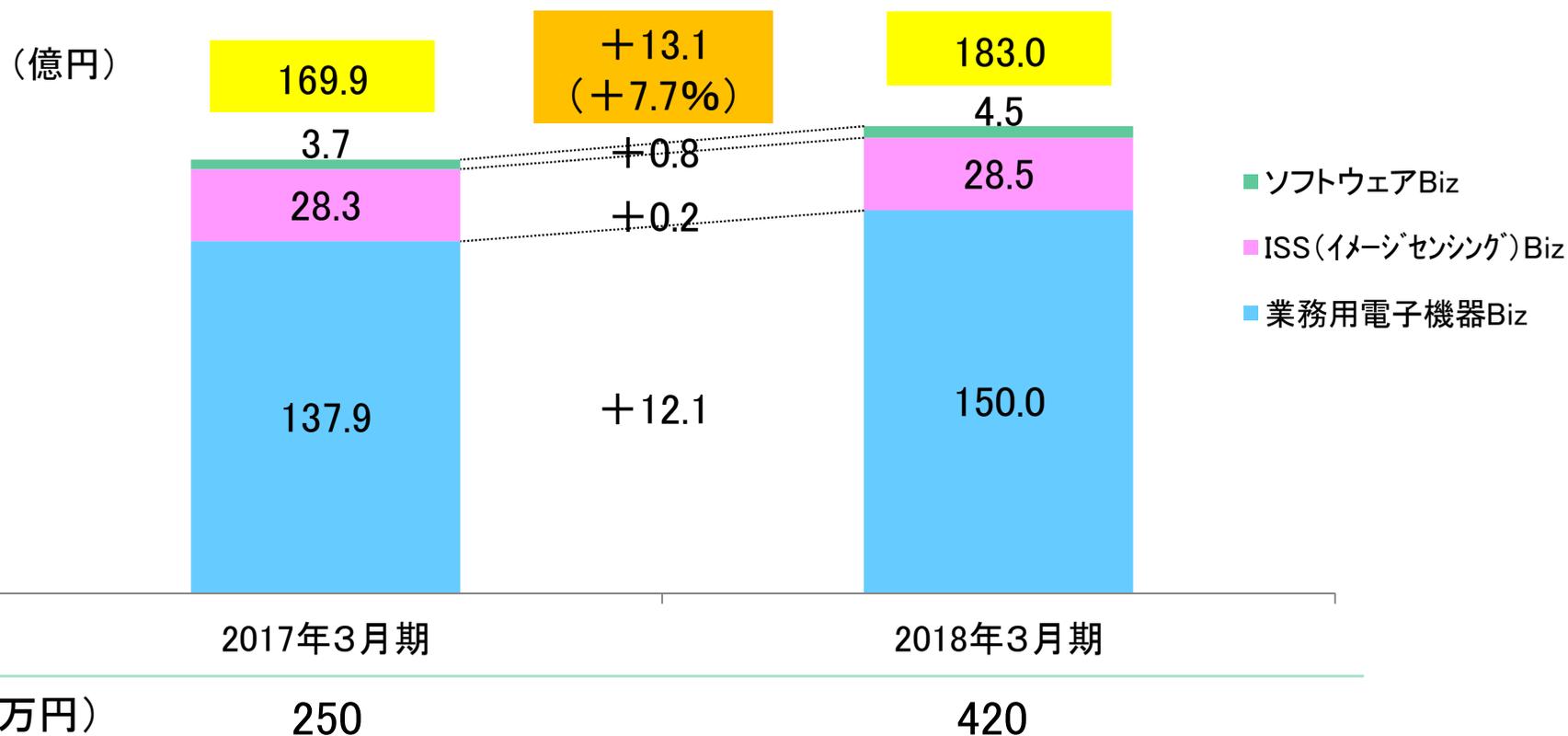
- 為替レート前提: 1USD=110円
- 売上高: 前年比+262億円(+9.6%)
海外スマホ向けは引き続き好調、EMSベトナム工場の寄与、電子機器事業の伸長を見込む
- 売上総利益: 前年比+14.9億円 前年度の円高影響は剥離するが、競争環境激化並びに商権拡大、製品群充実を優先した一時的な低マージン品増等に伴い、売上総利益率は前年並み
- 営業利益: 前年比+121.0億円 香港、シンガポールにおける引当損失剥離により正常化
- 経常利益: 前年比+124.9億円 為替差損益を織り込まず
- 親会社株主に帰属する当期純利益: 前年比+120.9億円
- 配当金予想: 1株当たり60円(連結配当性向27.7%)(中間配当金30円、期末配当金30円)

2018年3月期 通期業績予想 半導体及び電子部品事業



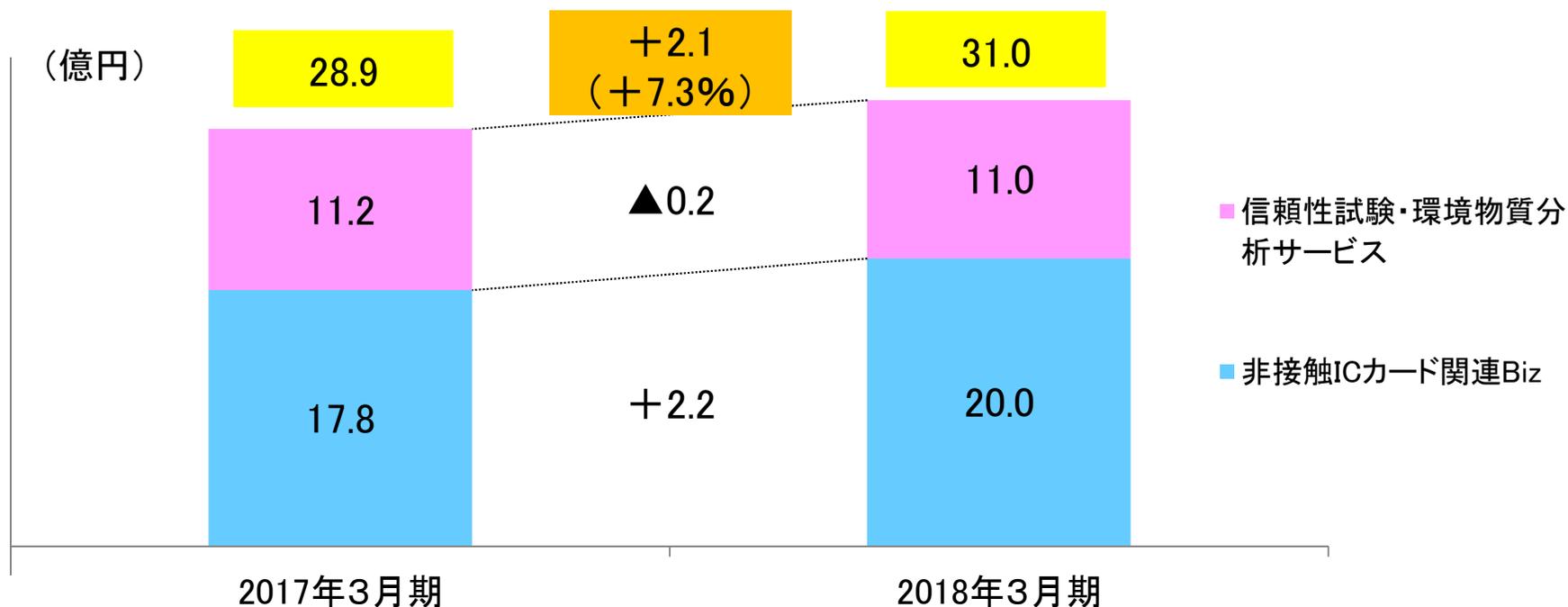
- ソニー半導体: 海外スマホ向けが引き続き好調
- その他半導体・電子部品: 材料系、車載向け中小型液晶等が好調
- EMS: ベトナム工場の稼働率は向上も、中国スマホ向けが停滞
- セグメント利益は、前年度の香港、シンガポールにおける引当損失の剥離により、正常化

2018年3月期 通期業績予想 電子機器事業



- 業務用電子機器ビジネス
4K/8K市場の本格化により、放送機器ビジネス、メディカルビジネス等拡大を見込む
- イメージセンシングビジネス
ITS(高度道路交通システム)、スマートセキュリティ等の新規市場を開拓
- 増収効果により、セグメント利益の増加を見込む

2018年3月期 通期業績予想 システム機器事業



セグメント利益(百万円)

204

210

- 非接触ICカード関連ビジネス
 - ・電子マネーや出入管理関連ビジネスの商談は引き続き活況に推移
 - ・次世代多機能決済端末の開発完了と供給開始(下期)
- 半導体及び電子部品の信頼性試験・環境物質分析サービス
 - 車載系のビジネスは堅調



株式会社 UKCホールディングス

〈お問い合わせ先〉

経営企画部 大澤

Mail to: ir@ukcgroup.com

本プレゼンテーション資料中のデータや将来予測は、資料作成時点における当社の判断や入手可能なデータに基づくもので、今後様々な要因によって変化することがあり、その情報の正確性及び完全性を保証するものではありません。